

# LANケーブル 自作工具キット

## 取扱説明書

ご使用になる前によくお読みください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。



セット内容	1 LANケーブルテスター LAN-TST6	2 かしめ工具 LAN-TL11	3 外皮むき工具 LAN-TL11
	4 カテゴリ6A RJ-45コネクタ(単線用) ADT-6ARJ-10 10個	5 カテゴリ6 RJ-45コネクタ(単線用) ADT-6RJ-10N 10個	7 モジュラーカバー(CAT6-先付けタイプ) ADT-MC9 20個

※枠内の品番で個別にお買い求めいただくこともできます。

詳しい加工方法は、LANプロをご覧ください。>>  
CAT6Aケーブル、CAT6ケーブルの詳しい自作方法や、最新情報をご提供しています。

WEB 5601



### LAN ケーブル加工方法

### CAT6Aの自作例

**1**

モジュラーカバーを先に取付けておきます。

**2**

外皮むき工具の刃の長さを調整しておきます。

**3**

外皮をむく長さを決めます。(目安6cm程度)

**12**

芯線を揃えたら、写真のようにハサミなどで切り落とします。

**13**

プラグを写真のように差し込みます。

**14**

左右に軽くねじりながら、写真のようになるまで押し込みます。

**4**

皮むき工具で外皮を切断します。

**5**

外皮を取除き、芯線に傷がついていないか確認します。

**6**

外皮をカッターナイフで1cm程度、切ります。

**15**

より戻しを短くするために、ペンチなどで芯線を挟み軽く引っ張ります。

**16**

外皮むき工具にはめ込み、強く握ると芯線が切断できます。

**17**

切断後、プラグが欠けていないことを確認します。\*切り落とす際に、プラグの向きが傾いていると角の部分が出てしまうので注意してください。

**7**

内部にある十字フィラーを、切れ目に合わせて折り曲げ、ハサミなどで根元から切り落とします。

**8**

レバーを矢印の方に動かしてスパイクを出します。

**18**

次にプラグにフタを軽く取付けます。外皮むき工具にケーブルセットし、工具を握りしめるとフタが取付けられます。

**19**

フタが取付けられているか確認します。

**20**

モジュラーカバーをコネクタに取付けます。

**21**

モジュラーカバーをコネクタに取付けます。

**9**

スパイクを使って、各ペアのよりを戻していきます。

**10**

写真のようにスパイクを親指と人差し指で挟み、そのまま先端方向に引きます。

**11**

よりをまっすぐに戻したら、加工する規格に合わせて線の位置を変更します。(写真は T568B)

**22**

かしめ工具を使い、かしめます。

**23**

かしめられているかを確認し完成です。

UTPケーブルには、T568A結線、T568B結線の2種類があります。弊社CAT6Aケーブルは、T568B対応です。

**T568B結線**